



卒業を祝して

歯学部長 前田 健康

歯学科第46期生の皆さん、口腔生命福祉学科第9期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟大学歯学部でかけがえのない学生生活、青春時代を過ごし、本日でたくご卒業される皆さんに、歯学部教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。また、今日の日を一日千秋の思いで待ち焦がれていた保護者、ご家族の皆様のご尽力にも敬意を表するとともに、お喜び申し上げます。

卒業生の皆さんは、新潟大学歯学部の教育課程をすべて修了し、学士の称号を与えられ、この春から、歯科臨床研修医、歯科衛生士、行政職、大学院への進学等、さまざまな道に進まれます。各人の進む道は異なるものの、歯科医学・医療、口腔保健・福祉に携わり、国民の健康の維持・増進に寄与するという皆さんの目標は同一であると思います。

我が国は世界でも例を見ない超高齢社会となり、健康寿命の延伸が国家政策の大きな課題となっています。歯学への社会的要請として健康長寿社会実現への貢献、医療イノベーションの創出、国際的な医療課題の解決があげられています。歯学科卒業生の皆さんには歯科医療ニーズが日々変化の中で専門医療職業人としての知識、技能が、口腔生命福祉学科卒業生の皆さんには専門性に裏付けられたチーム医療推進のための実践能力及び地域医療連携業務に精通し、実践できる能力が求められています。

私ども教職員は新潟大学歯学部の教育目標である「口腔や食べることの視点から、包括的な歯科医療人を養成し、社会に貢献できる人材の提供」を目指し、皆さんにこれからの超高齢社会で活躍できる基盤的知識、技能、態度を教育してきたと自負しています。社会は口腔医療・保健・福祉のプロフェッショナルとなる皆さんに対して幅広い教養、豊かな感性、きびしい倫理感を求めています。また、社会は皆さんに専門的知識やスキルを維持・向上させる責任を求めます。このため、皆さんにはさらに一層の常日頃の精進が不可欠となります。皆さんが社会から認められるために、今日の卒業式の日、これからの長い人生に向けて新たな目標を設定しましょう。歯科医療・口腔保健従事者という職業を真摯に受けとめながら、プ

ロとしての自信と勇気を持って、社会に対して積極的に貢献することを目指してください。自分をさらにスキルアップするための目標を設定して努力してください。再度目標を設定するためにアップル社の創業者のSteve Jobsの言葉をいくつか贈りましょう。これらの意味を深く考えてみて下さい。教職員から皆さんへの思いを込めた言葉です。

- ・ The only way to do great work is to love what you do. If you haven't found it yet, keep looking. Don't settle. As with all matters of the heart, you'll know when you find it.
- ・ I'm convinced that the only thing that kept me going was that I loved what I did. You've got to find what you love. And that is as true for your work as it is for your lovers.
- ・ Quality is more important than quantity. One home run is much better than two doubles.
- ・ Be a yardstick of quality. Some people aren't used to an environment where excellence is expected.

新潟大歯学部は創立50年を迎え、新たな半世紀へと第一歩を踏み出しました。改修された学び舎が新たな第一歩のシンボルです。皆さんはこのメモリアルyearに巣立っていきます。本日、新しい夢を胸にスタートラインに立つ皆さんを、我々教職員一同はこれからも応援していきたいと思えます。卒業する皆さんには、折を見て母校を訪ね、また生涯の学習の場として、これからも新潟大学歯学部を積極的に活用していただけるように願っています。皆さんが今日巣立っていく新潟大学歯学部は競争が激化している歯科界の中で、高い評価を受けています。社会に出て新潟大学歯学部の評価を聞いて見て下さい。我々教職員は皆さんに対し、これからの社会で勝ち抜くために必要な考え方、知識、技能を授けてきたと自負しています。新潟大学歯学部を卒業したという誇りを持ち、活躍して下さい。皆さんの今後の活躍を大いに期待してします。



卒業生の皆さんへ

新潟大学医歯学総合病院 総括副院長 高木 律 男

歯学科第46期生ならびに口腔生命福祉学科第9期生の皆さん、この度のご卒業誠におめでとうございます。皆さんは今、新たな人生の舞台への立ちあたり、将来への夢や希望と緊張感に包まれておられることと思います。無事この日を迎えられることとお慶び申し上げますとともに、新潟大学歯学部で培った知識や技術を礎として、新しい環境の中で夢と目標に向かって、積極的に邁進されますことを期待いたしております。

皆さんには歯科医学や歯科医療、さらには社会福祉、口腔保健のプロフェッショナルとして、国民のQOLの維持・向上に貢献するという共通の目標があります。その実現のために皆さんが学ぶべきことは、日進月歩の歯科医学や歯科医療および急激な高齢社会到来の中で、まさに無限といっても過言ではありません。新潟大学歯学部の教育カリキュラムは、臨床実習やPBLなど、自ら情報を収集し整理して習得する力を養うことを重視したものでありますので、皆さんには今後の長い生涯学習の道程を乗り越えていくために必要な基礎的能力がすでに備わっているはずです。今の熱い気持ち＝“初心”を忘れることなく、卒直後から数年の豊富な吸収力を活かして、高度職業人として羽ばたくための基礎となる多くの力を速やかに蓄えて頂けることと思います。

一方、歯科医療を取り巻く環境は、決して順風満帆とは言えません。向かい風に抗する局面に耐

える力が必要な時代ととらえることも必要でしょう。しかし、少し視点を変えることで、歯科医療の可能性はまだまだ広がっていることも事実です。例えば近年では多職種連携が医療界のキーワードの1つとなっており、周術期口腔管理や摂食嚥下リハビリテーションなど、他職種との連携のもと“チーム医療”の一員として歯科の特殊性を発揮する場が広がりを見せています。また、歯科疾患と全身との関連が注目されていることも周知の通りです。この様に歯科医療は歯科界のみで完結するものではなく、医療全体の中の一分野としてその役割を果たすこととなります。それぞれの皆さんが経験する医療現場は、多種多様に分かれることになると思いますが、そこに共通するものは、患者さん中心の医療であり、それを提供するための基本は感染管理・医療倫理を含めた安心安全な医療です。まずは、この基盤をしっかりした上で、基本的な歯科の知識および診療技術があり、そしてさらなるプロフェッショナルとしての専門性があります。繰り返しになりますが、この数年間が一生を通して各自がどこまで高められるかの基盤を固める上で非常に大切なことを忘れないでください。

最後に、ご家族の皆様におかれましてはご子息、ご令嬢のご卒業、誠におめでとうございます。長年のご支援に厚く御礼申し上げますとともに、益々のご健康とご多幸を祈念しております。

卒業にあたり

歯学科6年 三羽敏之

編入生という特殊な立場で学年に馴染めるか、勉強についていけるかといった不安を抱えて3年次編入生として歯学部生となり4年間があっという間に過ぎていきました。当初抱いていた不安は同期で編入した6人の仲間と私達を迎え入れてくれた46期生のおかげで解消され、無事に卒業を迎えようとしています。

編入生は年齢も学歴も職業も様々で、編入生として出会わなければ絶対にもともに歩むことがなかったであろう6人であり、この4年間で様々な分野で助け合い乗り越えてくることが出来ました。

また、私達を迎え入れてくれた同級生たちにも多くの助力をいただきました。試験日程やクラスの仕事などを配慮してくれ、編入したばかりで戸惑っていた私達が学年に馴染めるように親しみを持って接してくれました。この学年だからこそ4年間を過ごすことが出来たのだと思います。一人ひとりに伝えるのもこっ恥ずかしいのでこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

歯学部生として最も思い出に残っているのはやはり最後の1年間の臨床実習です。1ヶ月間の引き継ぎ期間を経て、明日から先輩のいない中で本当にやっていけるのだろうかという不安を胸に抱えながら、その不安を患者さんに伝えないようにと日々診療に臨んでいたらあっという間に1年間



筆者：上段中央の眼鏡をかけている男性

が過ぎていました。ライターの方には本当にお世話になりました。自分の力量では到底やりきれない場面でも先生方のおかげで乗り越えることが出来ました。また、患者さんは、慣れない診療で長時間かかってしまっても文句も言わずに協力してくださいました。多くの人の支えで臨床実習を終えることが出来ました。このような経験は今後歯科医師として生きていくうえでかけがえのないものとなりました。

今後はこの4年間でお世話になってきた人たちに少しでも恩返しができるように、歯科医師として頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

卒業にあたり

歯学科6年 浜谷桂佑

「もう6年も経ったのかー、はえー。っつか、もう四半世紀も生きたのかあ。。。」この原稿を書くにあたり、私が第一に感じたことである。入学当初、ピチピチの未成年だった私は、大学も小学校の6年間と同じくらい、ただ楽しいだけでほとんど記憶には残らない、長い長い日々が待っているのではないのかと考えていた。しかし、実際には全く違った。今となっては少し肥え、体力も落ちてきているのにも関わらず、友達と酒を酌み交わすようになった私は、大学生活はとても短く、しかし、全ての日々を今でも鮮明に覚えているくらい濃かったとしみじみと感じている。この違いとなる要因を私なりに考えてみたところ、小学校の頃にはなかった知力・行動力に加えた僅かな財力、そして、何よりも同じ夢を持ったかけがえのない仲間に出会えたことであるという結論に至った。

新入生オリエンテーションで初めてクラスみんなに出会い、地元の津軽弁が直らず、それどころか友達の発音にまで影響を与え、部活に入り、成人式を迎え、お酒を覚え、バイトをし、学校では勉強・実習に追われながらも友達と競争しながら乗り越え、旅行にいき、臨床実習で歯科の面白さと奥深さを実感し、進路の相談をし、飲みながら

夢を語り。。。と本当に一瞬であった。どれも楽しかった。どれもいい社会勉強になった。胸を張って、すべて私のかげがえのない財産であるといえる。

このように楽しく、充実した日々を送ることができたのは、大学関係者の方、並びに自分と関わってくれた先輩・後輩、そして毎日一緒にいたクラスメイトに加え、車でも12時間近くかかる遠い青森からでも伝わる眼力で見守ってくれた母親の温かさにあったからである。この場で感謝したい。が、しきれぬわけがない。だから、これから、歯科医師として日々努力と成長をし、多くの人の健康・幸せに関わりながら恩返しをしていきたいと思う。

6年間お世話になりました。そして、これからもよろしくをお願いします。



筆者：左から3番目

卒業にあたって

口腔生命学科4年 小松 愛 菜

新潟大学に編入学し、2年の月日が経とうとしています。現役生に比べると、たったの2年で

す。入学当初は、長いような短いようなぼんやりと想像していた2年でしたが、20数年の人生の中で、これほど季節があっという間に過ぎながらも、1日1日が濃い日はなかったと思います。歯科臨床実習、福祉の外部実習、特論、就職、追っていた時間がいつの間にか追われる時間になり、過ぎ去った時間を振り返るとまるで何も無かったのではないかと感じてしまうほどです。

そんな中で、私たちの1年を大きく占めたのは、4年次歯科臨床実習です。免許を持っているとはいえ、日々不甲斐ない自分に落胆し、知識と臨床現場での点を繋ぐ作業に加えて学ぶことやるべきことを模索していたように思います。出口の見えないトンネルと歩いている時間が長くご迷惑もお掛けしてしまいましたが、それでもお忙しい中、指導していただいた診療科の先生方、歯科衛生士、看護師のみなさんには感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

また、歯科臨床実習と並行し行った、福祉の外部実習では、就労支援の現場で実習を行わせていただきました。人が生きる上で切り離すことが出来ない福祉について学び、実際の現場に出て実習させていただいたことは貴重な経験です。制度や時代背景としての福祉の側面だけではなく、人とのふれあいを通し己と向き合うことで、決して机上では感じ取れない相手、人を感じ、多くのことを学ぶことが出来ました。

新潟大学に入学してからあっという間に過ぎようとしている、2年の間、多くの人に出会い、多くの人に支えられ、多くの刺激をもらい、とても充実した学生生活を送ることができました。ご教授いただいた先生方、口腔生命4年のみなさん、



多くの方に感謝したいです。人と人のつながりを大事に、桜の季節を迎えたいと思います。



卒業にあたり

口腔生命福祉学科 4年 征 矢 悠



口腔生命福祉学科に入学してからあっという間に4年が経ち、気づけばもう卒業の年です。学年が上がるごとに徐々に忙しくなっていく、4年生になってからは時間の流れが早く感じました。3年後期の臨床実習で、実習をしている4年生の先輩方の姿を見ながら、自分もあんなにテキパキとアシストができるようになるのだろうかと思っていた頃が懐かしいです。

4年次から病院での臨床実習が始まり、慣れるまで緊張で何もできず自分の無力さに情けない思いをしたことが何回もありました。しかし、机上で学んできたことを実際に臨床の現場で行いなが

ら、医療従事者に求められる姿勢等、多くのことを学ばせていただきました。熱心に指導して下さった歯科医師の先生方や歯科衛生士の皆さんには本当に感謝しています。

また、歯科だけではなく、社会福祉の現場実習では新潟県障害者リハビリテーションセンターで実習をさせていただき、毎朝早起きをして亀田まで通いました。社会福祉の現場は常に臨機応変な対応が求められるので、戸惑うこともありましたが、障害者の自立に関わる多職種連携や日頃のコミュニケーションからニーズを把握することが援助につながることを学び、社会福祉に関する理解を深めることができました。実習最終日には利用者の方からお手紙をもらったり、事務室にいる私達にわざわざ挨拶しに来てくれた利用者の方もいて、嬉しくて涙が出そうになりました。

このように、歯科と福祉という全く異なる分野を4年間学んできた中で、なぜ福祉も学ぶのかと聞かれることが何度もありましたが、その答えは他職種と連携していく際や生活弱者と関わっていく時に福祉の知識が必要となってくるからであると思います。

私は4月から歯科衛生士として働いていく予定です。社会人になってからも福祉の分野に目を向けて、幅広い視野を持った歯科衛生士を目指して日々頑張っていきたいです。



卒業おめでとう

平成27年度 歯学部卒業生名簿

歯学科

番号	氏名
1	赤坂 廉
2	安部 雄一郎
3	飯田 育葉
4	伊藤 元貴
5	遠藤 諭
6	大槻 里実
7	金井 梢
8	亀山 亜美
9	小松 貴紀
10	小松 万記
11	櫻井 窓佳
12	鈴木 兼一郎
13	鈴木 麻里恵
14	高村 真貴
15	竹内 陽香
16	田村 光
17	千田 正
18	築野 沙絵子
19	都野 隆博
20	箱山 友祐
21	原 さやか
22	日吉 巧
23	干川 絵美
24	眞喜志 佐奈子
25	峯尾 修平
26	目黒 史也
27	山田 茜
28	吉村 将悟
29	今村 梨乃
30	工藤 武久
31	浜谷 桂佑

番号	氏名
32	松岸 葵
33	松田 義弘
34	山崎 恭子
35	中村 雅英
36	佐藤 弘美
37	衣川 恵理子
38	清水 梨沙
39	津川 晶紀
40	三羽 敏之
41	吉田 彩乃
42	佐藤 新一

口腔生命福祉学科

番号	氏名
1	浅利 早紀
2	有賀 彩乃
3	井村 優莉奈
4	江連 采弥子
5	木下 優奈
6	久保 友香
7	小池 里香
8	坂井 あやめ
9	佐藤 菜絵
10	関口 未有
11	相馬 沙季
12	征矢 悠
13	高橋 駿介
14	武田 千尋
15	塚田 真央
16	野 由佳里
17	野村 明代
18	藤井 花奈
19	牧野 未来
20	松田 真優
21	宮川 浅見
22	森山 奏
23	横山 奈央
24	吉田 遥
25	有馬 麗奈
26	大泉 祐子
27	神田 仁美
28	小坂 香織
29	小松 愛菜
30	堤 あゆ美

(卒業日 平成28年 3月 3日)

(卒業日 平成28年 3月23日)